



ロータリー：
変化をもたらす

宇都宮ロータリークラブ会報

R1テーマ「ロータリー：変化をもたらす」

宇都宮ロータリーテーマ「一歩前に進みましょう」

第2550地区ガバナーテーマ「チャレンジ&イノベーション」

～挑戦と変革で切り拓く、第2550地区の未来～

2017～2018年度RI会長イアンH. S. ライスリー 宇都宮会長 印出井敏英

第2550地区ガバナー 太城敏之 幹事 飯村 悟

例会日 火曜日12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランテ 宇都宮市本町5-12

事務所 宇都宮市江野町1-12 榎木実業ビル2階 TEL 028-666-0555

E-mail u-rc01@silver.plala.or.jp FAX 028-666-0333

(2018)平成30年1月23日 No. 3229回 2017～2018年度(第25回会報)

会員数 105名 出席会員 58名 出席率 61,7%

ビジター紹介（親睦活動委員会 矢治和之委員長）

宇都宮北クラブ会長林田鐵弥様、宇都宮北クラブ幹事藤田克彦様、菅谷隆臣様

会長挨拶（印出井敏英会長）



皆様、こんにちは。今日は大変、昨日の夜から雪が多量に降りまして20センチ以上というのは、なかなか近年では珍しいのかなと思います。私が小さいときにはね、随分降って、学校が休みとか、「台風が来るんで早く帰りなさい」とか。非常に得した記憶があるんですけども、このごろは温暖化のせいで、だいぶ少なくなっているのかなと思います。

ええと、本日はですね、北ロータリークラブの会長の林田さん、幹事さん。ええ、2月に行われますIMについてのPRにいうのがあって、あのPRのことで訪問されています。これは3年以下の若い人たちというふうな制限がある、制限って言うのはちょっと行き過ぎですけど、あるんですけども。それにこだわらずですね、どうぞ、会員の皆様、なるべく多くの皆様にご参加いただきたいなど、私からもお願い申し上げます。どうぞ、よろしく願いいたします。

司会 本日はIMのキャラバンのため宇都宮北ロータリークラブより、林田会長と藤田様がお見えですので、ごあいさつをお願いいたします。林田会長、よろしく願いします。

林田鐵弥宇都宮北ロータリークラブ会長



皆さん、こんにちは。ただ今、ご紹介をいただきました宇都宮北ロータリークラブ会長を仰せつかっております林田、幹事の藤田でございます。本日はよろしく願いいたします。

この度は貴重な例会の時間をちょうだいいたしまして、誠にありがとうございます。本日は、先ほど印出井会長からご紹介いただきましたように、2月の24日が本番でございます。IMのPRに参ったわけでございますが、今回のテーマは「見つめよう、変革の時から明日を」となっております。第1部は本年度に改革したこと、もしくは変革したいことをテーマに10クラブの会長のお話をいただいて、第2部はスペシャルオリンピックス日本名誉会長を

務めていただいております細川元首相夫人の細川佳代子さん、そしてスペシャルオリンピックス日本・栃木の会長を務めていただいております高久和男様をお呼びし講演をいただくようになっております。また、その後の懇親会でございますが、ジャズライブを楽しんでいただきながら、10クラブの交流を深めていただければ、と考えております。

宇都宮北ロータリークラブ一同、心からお待ちを申し上げます。万障お繰り合わせの上、大勢の方々にご参加をいただきたいと、このように考えております。本日は、貴重な時間をいただきまして、誠にありがとうございました。よろしく願いをいたします。

(歓談)

石島会員

皆さん、こんにちは。お手元にですね、ロータリーバレンタインコンサートというチラシが配られてると思います。私あの今、地区の会員組織委員会ということで、会員増強に携わっております。それでですね、2月の14日、これはあのバレンタインデーでございますけれども、この日にですね、女性会員を増やすためのコンサートを、パーティーを行おうという企画でございます。ええ、ですからあの、女性会員に、要するにロータリアンとして女性を迎え入れる候補者を連れてきていただければ、このコンサート、会に、パーティーに参加可能ということでございます。それと同時にですね、あの、女性の会員さんもこの際、お集まりいただいてですね、交流を深めようと。そういう企画でございます。

で、皆さん、覚えていらっしゃるかどうか。去年の夏、ロータリアンを勧誘するためのゴルフコンペというのをやりまして、中でそのゴルフでですね、1人ホールインワンをやった方がいらっしゃいまして、その方もめでたく足利の方のロータリークラブにお入りになりました。そういう予想外のこともございまして、会員組織委員会としては、タシロガバナーの下、会員増強に努めているという企画でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

金成委員長

皆さん、こんにちは。ニコニコボックス委員会の金成です。本日、ご奉仕をいただきました、ご奉仕をご紹介します。本日は、その他としてお2人からいただいております。まず、宇都宮北ロータリー林田鐵弥様、会長ですね。「本日はIMのPRでおじゃまさせていただきました。2月24が本番でございます。大勢のご出席をお待ちしております」といただいております。ありがとうございます。

ええ、もう1つ、先週の卓話者、成願寺住職、福崎孝雄様よりご奉仕をいただいております。本日のご奉仕は以上でございます。ありがとうございました。

プログラム委員会松本委員長



皆様、こんにちは。本日の卓話は会員卓話でございます。

「新春映画作品紹介」と題しまして三井勝茂会員にお話をいただきます。今さらですけども三井会員のプロフィールをいただきましたので、ちょっとご紹介させていただきます。三井さんは大阪生まれ。東京薬科大学をご卒業になり、在学

中、部活動は映画研究会に入っておられました。卒業後、スイス系の製薬会社である株式会社日本チバガイギー社、今のノバルティスですね、に入社されました。結婚を機に小山市の銀星会館、宇都宮市のプラザヒカリに入られて、現在は栃木県工業生活衛生同業組合の理事長、それから小山市の小山薬剤師会の副会長をお務めになっておられます。それでは三井さん、よろしくお願ひいたします。

三井勝茂会員



こんにちは。今日は雪、昨日の雪、大変なところこんなに集まっていただけとは思わなかったんですけど。その分、一生懸命、来ていただいた方に得るものがあると思うんですけど。今日は今まで、格調高い卓話が多かったですから、今日はちょっと気楽な。まあ、今日は吉永小百合さんの作品もありますので、最近の映画と、あと女優の話とか、気楽に聞いていただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

先ほどプロフィール改めて紹介しましたが、私のこう、薬科大のときから映画が好きで、よく校舎が新宿辺りにありましたんで、新宿辺りでよく映画を見て。今でもこういった映画館等、小山市で調剤局の方も、何店舗かやっておりますので、学生時代と全然変わらないスタイルしてますんで、同級生には大変うらやましがられております。

それでですね、今日、前回ですか、にもお話しましたが、ええ、どうですか。皆さん。最近、学生のときみたいに何かを観たり、本を読んだりして、感激したりとか。これはもう胸が熱くなるとかね。そういう経験は何か最近、あまりないんじゃないでしょうかね。

あの、私どもの映画館のお客さんという、まあ子どもさんはアニメとか多いですし、女性の方はよく何人かでね、観てその後、お茶飲んだりして帰られますけど、そういったお客さん見てますと、何か出たときにね、ああもう、あの、いいのを観た。子どもたちだったら「楽しかった」とかね。ワイワイ騒ぎながら言ってますけど。女性の方たちは、もう涙ぼろぼろね「これよかったね」とか「感動したね」とかね。もう、ワーワー笑いながら帰ったりとかしてますんで。ぜひ、あの、皆さんも映画でですね、そういったストレス、ストレスの解消をですね、していただければと思ってます。

あの、やっぱりストレスたまっちゃうとね、やっぱり感動とかね、心を動かすことが、喜怒哀楽が日ごろね、大事かと思えますんで。その辺、映画の方、利用していただいて。それでもだめだったら小山にいい薬局がありますんで、ぜひご相談にうかがえればと思います。

よかったですね。今日、そのためのプロフィールでしたので、反応がありました。

それではですね、予告の前に、まあ、私ども、興業関係のお話を時間の限り、させていただきます。やっぱり、興業関係、ここんと、前回もお話しましたが、あの、フィルムでこうやってたのが、まあ、テレビもデジタルになりましたし、今回、私どもも、デジタル化、今、なっております。その中で、昔、何かスパイ大作戦とかいってね、何かメッセージの後、テープがね、ポーって煙出したりしてね、なくなっちゃ

いましたけど。あれと、同じように、向こうから弁当箱みたいのがね、配給会社から来まして、それを入力しますと、それで、うちとの契約をした後は、ある日にちが経つとね、煙は出ませんが、まあ、あの、もう上映できないという。そういうふうに管理されております。

それであの、よく今まで、中国なんかでね、盗撮のね、DVDが出回ったりしてましたけど、日本もそうですけど、盗撮防止法とかね、できまして。よく映画の前に、あの、ビデオマンと、何か、あの、パテライトマンみたいのがね、ええ、罰金1000万円とかいってますけど。ああいうのが、各国、中国も含めて、きちりできてきましたので、どんどんどんどんメジャーですね、アメリカの制作作品がきちりと上映されるようになりました。中国でも割合と、どんどんどんどん市場が大きくなりました。

日本でシネコンっていうと、大体10スクリーン、多くて15スクリーンでね、やってる。新宿辺りとか、ずっとやってますけど。向こうですと、シネコンではなくてメガトンですね。ワンサイト、1ヵ所行くと50スクリーンとかあるんですね。

それなんで、売上もどんどん中国が市場が多いですから。うーん、例えば、配給会社、日本で、営業マンは今、ワーナーブラザーズとか、ディズニーピクチャーとかありますけど、そこで、うーん、営業マンはいますけど経理は上海にあるとかね、してますから。やっぱり中国中心になっております。

また、制作関係もやっぱりお金を出してますんで、ええ、例えば、ちょっとロボットのね、こう、メガゴジラみたいのが、こうずーっと、そういうシーンがあったら、その上海のこのビルのところに、うちの宣伝の看板があったら、あそこをこう、監督がね、30秒で終わったところを、ちょっと注文が入ってね、あそこを5分延ばしてくれとかね、また撮り直して、その宣伝になるようにね、やるっていう。そういうこともあって、中国がどんどんどんどん、ハリウッドにですね、お金を出しているというのが今の現状です。

今日も、作品の紹介をするのに、やっぱり中国とのあれで、2作品ほどありますんで、また後ほど紹介いたします。

ええ、あとですね、今日、吉永小百合さんの作品もありますんで、吉永小百合さんのお話したいと思うんですけど。皆さんはサユリストとかいらっしゃるんで、年齢はご存じですよ。ええ、現在ね、73になると思うんですけど。よくあの、JR、今日は駅長さんいらっしゃらないですけど。JR東日本のね、ポスター見ました。吉永小百合さんのポスターがドーンとね、大きく出てます。73でであれほどの大きいポスターに耐えられるっていう人はなかなかいないと思います。よくねえ、この人、あの、おじいちゃん、おばあちゃんがあそこでね、いて「この人、結構、73なんだよ」なんつってね。

でも実際、会ってみますと、50、50、60 いかない感じですね。本当に、ええまあ、いぶし銀っていったらちょっとね、あれですけど、もっとパールっていうかね。そういうイメージですんで、全然、やっぱり女優らしい人ですね。

ただ、普段はしとやかな人ですから、ちょっと賞なんか受け取ってもすーっと端っこ行くような感じで。決してあんまり。もう売れるだけ売れちゃった人ですからね。あんまり、恥ずかしいというか、あんまり目立たないようにするっていう、感じの人ですね。

まああの、女性の話でいいますと、やっぱり売れっ子さんになると、やっぱりオーラが出てきますよね。昔あの、うーん、松竹、東宝とかそういうところで、新年会とか忘年会とかあんですけど、そうすつとば一っと女優さん並んで。松坂慶子さんとか、その時は夏目雅子さんとかいらっしやったんですけど。夏目さんがちょうどこうピークの。ええ、あの人は白血病でね、亡くなりましたけど。やっぱりあの、本当、透き通るようなね、方でしたんで。あのとき松坂慶子さんも結構ね、あの、売れてたんですけど、やっぱり、旬の人にオーラは掛かりますね。私の見る目なんで、ちょっと、個人的な好みかも分かりませんが。

ええ、それであの、やっぱり若い女優とかね、見てるとやっぱり、あの、例えば、そうですね。檀れいさんとかね。今はあのサントリーの金麦とかで、ちょっと庶民的な感じですけど、あの人も、やっぱりこう、ちょっとねえ、眉、こう染めるだけでさすが。あれで、宝塚のね、女優だけあって。やっぱり、あの、普通の人がね、あの、お化粧をすると、ああ、それなりかなって感じですけど。やっぱり女優が、ぱつと。まあ、プロがメイクしますからね、当然ですけど、全然、映えるんですね。やっぱり美人は化粧をすると、本当に美人になりますね。ええ。ぜひ。

あとですね、やっぱり、あの、よく日本アカデミーなんかで、新人さんが5人ぐらい**とぶんですけど**。新人のときには、パツとしないのが、その新人賞を取ると、どのぐらいですかね、翌年はば一っと出る幕が多くなるんですね。その中でどんどんどん伸びる人は伸びていくし。ええ、それなりの人もいますし。その辺のね、ところが、私も研究したんですね。ええー、この人が伸びるかね。これから大女優になるかっていうのを。最近、分かってきたんですよ。あの一、新人のときにね、握手をするんですよ。で、こう、何百人ぐらいやったですかね。大体、当たってきましたね。

「ああ、この人は伸びる」とかね「ああ、この人は早くお嫁さんに行っちゃった方がいい」とかね「その方が幸せになる」とかね。

あの一、今日はちょっと時間があるんで、種明かしをしますと、あの、女優になる人はね、こう握ったときにね、小さな手をしてるんですね。ええ、そうすると、そういう小さな手をしてるっていうのは、あの、割と大胆な演技ができません。だから売れっ子でアイドルで終わっちゃう人もいますけど、やっぱりどっかで転換期があって、広末涼子さんとか、大河ドラマ、綾瀬はるかさんとか、新垣さんとかね。皆さんねえ、こうやっぱりどっかで、転換できる、ぱつとね伸びるような人が多いですね。ええ。

そう、それは、あの、この中に占い、鑑定士の職業分類の人はいないですよ。あんまりうそを言っちゃうと、大体そういうのが、当たりますんでね。おかげさまで、そういったことが最近、感じますんで。ぜひ、皆さんも何か機会あったら、どなたか握手して、若い子としてみてください。

はい。そんな話をしてましたら、ちょっと作品紹介の方が、移らせていただきます。今日ですね、皆様のお手元の方に、まあ、まずは、ええー、特別招待券1枚あります。あと8作品を用意しましたので、こちらの方のご紹介をしたいと思います。

ええーと、映画はですね、ジャンルが多いので、皆さん好みの作品が大変多いです。ただ、ええーここで恋愛映画とかね、あまり興味ないかと思えますんで、ええー、皆さんに興味のありそうな。ぜひ、これだけはお勧めですので、観ていただきたいという作品をお持ちしました。まずは、この「ジオストーム」ですね。今も盛ん

に、上映中です。こちらの方の作品はやっぱり映画を観るんだったら大迫力のスクリーンで見たって。今日も、予告編、流しますけど、一番迫力ある映画かと思えます。ええー、特撮で。ええー中身はあれですね。うーん、異常気象ですね。ええー、異常気象、今もあのいろんな温暖化とかありますけど。例えば、アフガン、アフガニスタンですね、ヒョウが。急にマイナス50度ぐらいになってしまって、人柱ができちゃうとかね。その辺のスタートで始まって、いろんなことが起きます。世界各国異常になります。その辺を解決しに行くというスケールの大きな作品です。こちらが「ジオストーム」です。こういった映画、お好きな方はぜひ、ただ今絶賛上映中ですのでね。各映画館見に行ってくださいと思います。

あの、私の映画興業の、先ほどね、理事長やっていますんで、公平にね、各、うちだけじゃなくてほかでもね、やってる映画紹介しますので、ぜひ、ご参考にとと思えます。

次に、ええーパンフレット「空海」ですね。こちらの方はですね。ええ「空海」。名前だけ見るとね、何かちょっと、うーん。宗教的なものかなと思うんですけど。こちらは夢枕獏さんという原作ですね。こちらの東宝さんと角川文庫さんが共作になって。やっぱり角川さんは昔からね、いろいろ映画絡みで本も売っていますんで。それを兼ねて、中国でチェン・カイコーっていう監督、こちらのカンヌでパルムドール、金賞取った監督で、迫力ある展開になります。ちょっと、奇談っていう感じですかね。ちょっと現実離れた、そういった内容になっています。そういった内容になります。その中で、日本の俳優と阿部寛さんとか、そのほかええ、女優さん、これ、松坂慶子さんも出てるんですね。それで中国の女優も交えてきてますんで、これで、大作ですね。ぜひ、「空海」興味のある方は観ていただきたいと思えます。また、角川さんのは本も買っていただきたいそうです。

はい。続きまして「北の桜守」。こちらはあの、サユリストは必ず観るかと思うんですけど。ちょうど

吉永小百合さんが120作目の作品になります。また、こちらの「北の桜守」、北海道をテーマにしています。北海道がちょうど今年で命名150周年なんですね。ちょうど明治から数えて150年なんで北海道をテーマにした「北のカナリヤ」とかそういった。「北の零年」とか、その3部作の一部ですので、ぜひサユリスト、ええ、北海道、そういった、ええー記念になりますんで、ぜひご覧いただければと思えます。

あとですね、次に「嘘八百」。ええー。こちらの方は「何でも鑑定団」、ご覧になっている方、多いかと思うんですけど。ええー、そういった方はぜひ、こちらの方ですね、興味あるかと思えます。利休の茶器を巡ってですね、ええー箱もある、能書というんですかね、ある。ただお茶、茶器がない。それを、ええーその古物商の人と陶芸家が企む映画で。ぜひお正月ですんでね。「笑って、やっぱり一本観たいな」っていう方は、こちらの方、ご覧いただければと思えますので。喜劇の作品になります。

ええー次に「グレイテスト・ショーマン」こちらの方のヒュー・ジャックマンはね、レ・ミゼラブルとかで、ええー上映、ありましたけど。こちらの方はミュージカルです。ぜひ、奥様と行かれる場合は「グレイテスト・ショーマン」こちらの、「デイス・イズ・ミー」ですか、主題歌もこれからヒットしてきますんで、ぜひ、ミュージカル、お好きな方はこちらの方をお勧めいたします。

次にやっぱり、自分はハードボイルド、こちらの方がいいんだっていう人は「マンハント」、こちらの方を。やっぱり中国の俳優との共演であります。日本からは福山雅治ですね。ここんとこ映画で出て、音楽も若い人に人気ですけど、ええー福山が、まあ、格好良く映ってますんで、ぜひ興味のある方はご覧いただければと思います。

次に「ペンタゴン・ペーパーズ」。こちらの「ペンタゴン・ペーパーズ」は、やっぱり何ていうんですかね、大人の映画っていうのは、正月が終わってちょっと時期をね、外して。これ3月30日上映ですけど、前にも「ハドソン川の奇蹟」っていう作品ありましたけど、やっぱりトム・ハンクス」が出てます。ハドソン川に飛行機がこう、着陸して、それをこう、後で裁判沙汰になった話なんですけど。なかなかか見応えのある作品でした。それをこちらが、監督がスティーブン・スピルバーグですね。あの、やっぱり、いい映画作ります。しかも、トム・ハンクスとメリル・ストリープ、こちらの大女優、今までのアカデミー賞の男優、女優が出る作品ということで、これから注目作品になりますので、ぜひ、重厚な作品ですね。こちらの方はワシントン・ポストの話ですんで、ぜひ、岸本社長さん、ぜひご覧いただければと思います。下野新聞推奨です。

続きまして、最後「ルミエール」こちらの方、「ルミエール」何かなという人、いるかと思いますが。以前にNHKスペシャルで「映像の世紀」という作品がずーとありました。新映像の世紀も出てきます。最初に出てきた、20世紀最初に、動画でずーっと工場から女性たちが出てくる、そういう作品を撮ってですね、有料でパリで上映されたのが映画の発祥です。そういった初期の作品。もちろん日本も1910年代の風景が出てきますんで。これは必見かと思います。こちらの方は、全世界の、その当時の風景等が分かる作品ですので、こちらのほうは、ぜひ招待券をですね、こちらのほうを作りましたので、ロータリー様限定の招待券ですので、ぜひご利用、いただければと思います。

そういうことで、一応、ざっと話しましたが、予告編を用意しましたので、ご覧いただければと思いますので、よろしくお願いします。

(予告編上映)

はい。ご覧いただきました予告編、いかがでしたでしょうか。ただ今、予告編の方を、見ていただいて、いただき、いただきましたけど。映画の見方でですね、あの、実際にご覧になって、後で本編を映画館でご覧になって、この予告編よりも、あの「ああ、良かった」という映画は、最優秀作品なりね、傑作、佳作になると思いますよ。この予告編よりも、「なんだこれは」というのがあったら愚作、駄作になるかと思いますが。あの、本編の方は、ぜひ劇場で自分の目でご確認ください。本日は、ご清聴ありがとうございました。

今日の食事



- ・シーフードカレーライス
- ・福神漬
- ・サラダ

写 真増田 直樹